



10月中旬とは思えないほど太陽の日差しが強い中、愛川ふれあいの村主催事業「あいかわ森のようちえん」を行いました。13家族45名の方にご参加いただきました。はじまりのつどいの前に、早速「カマキリ見つけたー！」という声が聞こえ、みんなでカマキリを観察。その後、はじまりのつどいで自己紹介をしてから、外で持ってきたお弁当を食べました。



午後からは「あいかわたんけんたい」に出発です。穴の開いている葉っぱや木の枝、きのこや木の実…。たくさんの自然物を歩きながら発見していきます。何かを発見し「見て見てー！」とお父さんお母さん、スタッフに嬉しそうに報告していました。長い木の枝を拾って電車ごっこをしたり、キノコや虫を探したりなど、さまざまなあそびがあちらこちらで見られました。



途中から子どもチームと大人チームに分かれ、子どもチームは「まぼろしの石さがし」へ出発！山の中をどんどん進み、まぼろしの石を発見。石の近くにある木の根の崖登りに挑戦！登っても滑り落ちてしまう子も、崖の上に登れたお友達から「がんばれ！」「つかまって！」と声をかけられている場面が見られました。一生懸命登った達成感から、みんな笑顔で滑り降りていました。



その頃、大人チームは「のあそびカフェ」でゆったりとした時間を過ごしました。夕食を食べた後は、ナイトアクティビティです。耳を使って秋虫の鳴き声が聞こえる夜の森を感じました。

2日目は朝食を食べてロッジの掃除をし、「アウトドアクッキング」でピザ作りです。支度をして「みんなでおいしいピザを作るぞー!」「おー!」と気合を入れて、クッキングスタート!



まずは生地係、火係、トッピング係に分かれます。子どもたちは包丁を使って、野菜を切ることや、生地づくりに挑戦します!「野菜はもう少し小さく切ってみたら?」という声や「もっと力入れてこねてみようか!」など、家族の垣根を越えて、包丁の使い方や生地のこねかたを教えている姿が見られました。焼き上がったらすぐに切り分けて焼き立てのピザを班ごとにいただきます。



「おいしーい!」「こんな簡単にピザが作れるなんて!」と驚いた様子のお母さんたち。子どもたちは苦手な野菜が入っていることも忘れ、夢中でピザを食べていました。ピザを焼くのはお父さんたちの役目。ピザを食べながら次のピザを焼く姿は、まさに職人でした!



スペシャルピザも食べてお腹いっぱいになったら、子どもたちは食器洗いをし、のあそびに出発!「けむりの出るキノコ」を発見してキノコから煙が出る様子をじっくり観察したり、「字が書ける木」に木の棒を使って絵や文字を書いたり、時間が足りないくらい、のあそびを堪能しました。



子どもたちだけでなく、お父さん、お母さんものあそびを存分に楽しんだ2日間でした。家に帰っても公園や自然の中でたくさん遊んでください。また、会えることを楽しみにしています。

文責：大瀧